

人間らしい雇用と労働の実現を 7月1日 CU東京第10回大会 1500人の早期到達を！



冒頭にあいさつする小倉一男執行委員長（左） 大会報告を討議する代議員（右） 7月1日 ラパスホール

1220人の組織に、大会に加入書届く

7月1日、ラパスホールでCU東京は第10回定期大会を1220人の新たな峰をつくり開催しました。前進を反映し、これまで最も多い90人の参加になりました。（代議員50人、執行部27人、特別代議員5人、来賓8人）。当日は渋谷、練馬、足立、江東など加入書を持ち寄り勢いを示しました。

年間の相談件数346件 相談員は69人

組合の前進とともに相談件数も増え346件になりました。内容は「解雇・雇止め・退職強要」、「労働契約・賃金未払い・残業代未払い」、つづいて「嫌がらせ、イジメ・ハラスメント」でした。解決手段は団体交渉がダントツでした。相談員は69人になりました。

交流・親睦も旺盛に・結びつき強め

個人加盟地域労組は組合員のつながり、交流は大切な活動。この1年、多彩に交流会、イベント、レクを企画、取り込まれました。花見、ボウリング、BBQ、ビアーパーティ、ハイキング、マグロきっぷ（三浦半島巡り）などなど交流、親睦を深めました。存在感高め、労働相談に応える

CU東京は1500人の早期到達をやり遂げ、3000人組合をめざします。増えている「個別労使紛争」に応える労働運動をすすめます。労働相談体制を、質量ともに強化をはかります。

「働き方改革」一括法廃止めざす

人間らしい雇用と労働の実現めざし、強行された「働き方改革」一括法の廃止の運動をすすめます。

CU東京の理解を広げて

CU東京の役割の理解を広げ、共通の課題として運動をすすめます。懇談、交流、共同、ネットワークづくりなど、多面的に取り組んでいきます。

大会後、楽しく交流、親睦深める

大会後ラパスホールで、参加者の交流会を開催。テーブルを囲み、寺川副委員長の司会でみんながマイクを握り、大会で語り切れなかったこと、経験など、支部の展望、組織の目標など、熱い発言が続きました。



大会後ラパスホールで、参加者の交流会を開催。テーブルを囲み、寺川副委員長の司会でみんながマイクを握り、大会で語り切れなかったこと、経験など、支部の展望、組織の目標など、熱い発言が続きました。

来賓のみなさんの挨拶 (抜粋)

松森陽一東京地評事務局長 節目の大会を、労働相談に応え、組織拡大していることに敬意を表します。個人加盟地域組織の発展めざし地評も力尽くしたい。来年はダブル選挙、要求実現めざし奮闘しましょう。



白滝誠東京土建書記長 CUを準備段階から支援してきました。土建は産業別居住地組織で非正規が大半。連帯し地域最賃引き上げたい。土建71年で11万5千人。CUの50年に12万人を祈念したい。



岩月桃子SU埼玉ユニオン委員長 4月に無期雇用転換が実現したが、それ以外の労働条件これから。組合員160人。1支部増に。鉄道沿線ごと集い開き、憲法カフェに20代女性複数参加。関心の広がり感じた。対象者はいる。組織拡大に連帯し頑張りたい。



伊藤己知全労連・新宿一般委員長 CU東京の発展を同じく非正規の組織化をとりくむ労組として喜びたい。新宿は18年、年間200件の相談、介護ユニオンを立上げ、登録型派遣の人を組織、600人を超えた。安倍暴走政治、新宿では公園の使用制限など民主主義への攻撃があります。頑張りましょう。



白石たみお都議会議員 (日本共産党)

私も非正規で働いた経験があり、番号で呼ばれる働き方でした。CU東京の運動に期待しています。安倍政権の「働き方改革」は過労死の合法化につながります。東京は大企業が集中、小池知事は物申すべき、小



池知事は「都民ファースト」になっていない。頑張らしましょう。

鷲見賢一郎弁護士 (代々木法律事務所)

「働き方改革」が強行された。高度プロフェッショナル制度廃止にとりくもう。残業規制外しを職場に入れさせない闘いが重要だ。非正規差別の裁判で勝利してきている。ダイナミックな運動すすめ、挑戦してほしい。



大会代議員の発言から (抜粋)

180人で大会開く 海崎治代さん (渋谷)

6月に180人で第7回大会を開いた。今日も拡大の成果持ってきた。第2回渋谷集会を準備している。最賃のとりくみ、70代の労働者、会社と話し合い時給1000円実現した。



労働相談の加入多い 遠藤弘幸さん (文京)

組合加入は労働相談から多い。90人まであと1~2名まできた。義理人情も大事にしBBQなどお互いを知り交流深めている。7月にも交流計画。矢内さんの裁判、社前行動に40人集まった。



2名無期転換勝ち取る 中村元さん (江東)

組合員255人になった。無期転換問題で、フジテレビの子会社とたたかい、民放労連と共闘くみ、2人の女性の無期雇用を勝ち取った。正社員だったら解雇できない。今後、正社員化めざす。組織を300人、さらに500人めざす。



パワハラ・残業代未払いで勝利和解

関川貴幸さん (江東)



カラオケの第一興商でパワハラ・残業代未払いで、職場復帰は勝ち取れなかったが、勝利和解できた。パワハラ規定をつくらせ、タダ働きは許されないことを示した。6月の勝利報告会に大勢が参加いただき感謝している。

「働かせ改悪」は廃止！ 尼崎学さん（三多摩）

「働く方改悪」法は、要望が90項目、付帯決議47。実態をあきらかにし、組合の方針が必要。非正規の公務員未組織が多い。会計年度採用が導入され、任用、雇用の改悪が想定される。相談に対応してほしい。



働き方に不満の人多い 柳生秀行さん（葛飾）

カラオケラウンジを営業している。働き方に不満を持っているお客が多い。この間7人加入させた。今、葛飾は52人だが、100人支部めざしたい。



三多摩は300人めざす 三宅一也さん（三多摩）

三多摩は現在243人、300人めざす。三つの柱で、

- ①一人でも入れる組合。②300人組織確立。③組合員交流を重点に取り組んできた。学習会の開催、分会づくり、毎月ニュースの全員届け。専従者を置ける組織めざす。



《高木書記長のまとめ》

第10回大会は、組織のあらたな到達、労働相談の成果を確認した。1220人の組織、346件の労働相談、全支部の奮闘によるもの。代議員の発言は組織拡大、労働相談・争議の発言だった。「働き方改革」一括法の廃止、意見のあった未組織へのとりくみ検討していく。2018年度はCU10周年。増えている「個別労使紛争」に応え、また、運動のネットワーク化にとりくみ、あらたな前進づくりたい。

大会議案（2017年度経過報告、2018年運動方針、決算・監査報告、予算案、役員選出、スストライキ権の確立）はすべて採択されました。

大会は、議長に江戸川・山崎清代議員、三多摩・石川隆代議員を選出、また諸役員を選出、参加者の協力で運営されました。ご協力に感謝します。

CU東京第10回大会選出新役員

- 執行委員長・小倉一男（江東）
- 副執行委員長
唐澤一喜（東京土建）、平山和雄（団体）
川村好正（江東）、高畠素昭（練馬）
大江拓実（三多摩）、寺川知子（三多摩）
- 書記長・高木典男（団体）
- 書記次長・宮本一（三多摩）
- 執行委員・鈴木明彦（ちよだ）、高橋孝（港）
松井優希（江東）、佐藤盛雄（品川）
宮澤罔寛（江戸川）、小野寺忠（葛飾）
岡野健次（葛飾）、宮下武美（足立）
山田三平（文京）、作田信義（豊島）
根岸弘子（練馬）、伊藤榮江（渋谷）
菊池恒美（中野）、福田かつこ（三多摩）
三宅一也（三多摩）、遠藤日出男（団体）
岡秀明（団体）
- 会計監査・渡辺睦（団体）、塚本晴彦（団体）

大会へのメッセージ

全労連、東京自治労連、都教組、東京社保協、NKSシステム ありがとうございます。

飯田橋ハローワーク、後樂園、水道橋駅を最賃1500円デモ 6.23 CU文京



「まともな生活をよこせ」の大運動

「文京区でも、最低賃金引き上げのデモをしたい」というCU東京文京支部などの提案から、実行委員会が作られ、昨年、今年と「最賃1500円」を掲げたデモ行進が実現しました。

東京土建文京支部や全印総連の「公契約条例」制定も要求に加え、非正規、未組織の労働者に向けた「まともな生活をよこせ」という大運動です。

6月23日、飯田橋ハローワーク、水道橋駅、後樂園を巡るコースは、若者が集まっており注目度抜群！若い人の声援も。総勢40人。担い手はベテランが多く、今後の課題です。毎年続けます。「最低賃金1500円」のアピールが未組織の労働者にどのように伝わるのか、研究しながら、大きな運動に育てる決意です。（文京 山田三平）

「渋谷集会」の成功を確信に、 200人支部達成へ

CU渋谷支部



CU渋谷の存在感高め

6月24日、CU渋谷第7回定期大会を渋谷勤福で開催、来賓を含む19人が参加、「渋谷集会」の成功を確信に200人支部達成へ前進を誓い合いました。

来賓のCU東京・平山副委員長、民商・後藤副会長、都労働相談情報センター・永関氏、共産党・秋元区議、新婦人・荒井会長、社保協・福井会長、区労連・田辺議長から連帯の挨拶がありました。

議案提案の後討論、①「渋谷集会」は毎年開催を。拡大は労働者の実態をつかみ戦略的に。②（質問に応じて）あかつき労組の組合員学校は、組合とは何か？など2日間。CUの説明もしている。③派遣18年。自動車メーカーのことCUに相談、パワハラとわかり、勤務先を代えてもらい解決。組合にも貢献したいなど6人が発言しました。

役員体制の強化をはかり

まとめて海崎書記長は、積極的な発言と、特に新加入の益子さんの発言に励まされた。頑張りたいと決意ものべまとめとしました。新役員に、委員長・伊藤栄江、副委員長・田辺勝彦、書記長・海崎治代、執行委員・金子ますみ、松浦由紀子、荒井佳子、酒井大、益子君代、会計監査田中重一の各氏を選出しました。

矢内富夫さんの雇用延長を 認めろ！

6月27日 社前抗議行動 CU文京

差別されることなく65歳まで雇用延長を

文京支部の組合員、矢内富夫さんの争議はまる2年を経過しました。60歳定年を迎えた労働者が、「誰でも差別されることなく」65歳までの雇用の延長が認められなくてはなりません。年金改悪だけが先行し、60歳定年制が生き残ったのではたまりません。会社は、最後の団体交渉で「60歳で一旦雇用契約は終わる」「その後の新しい契約は誠実に話し合います」などと述べ、体よく追いつそうとしましたが、その手には乗りません。高齢者雇用安定法が真の意味で労働者の利益を守るものになるのか、重要な闘いだと再認識しています。

昼休みの社前抗議行動に40人

裁判も山場（7月4日、丸一日の証人尋問）です。梅雨のど真ん中の6月27日、昼休みの社前抗議行動を決行しました。参加を訴えるときに「雨天決行」と決意を述べたのが効き目を現したのか、40名の参加になりました。（文京 山田三平）



■7月1日、節目の第10回定期大会を開催、全支部の奮闘でまた新しい峰で迎えた。代議員の発言、交流会の発言は、さらに大きくする決意が相次いだ。■「働き方改革」強行に来賓の方々、代議員から「廃止」の闘いの発言。鷲見弁護士は、現場からの残業規制外しを許さないたたかいを訴えた。■小倉委員長はじめ新しい執行部を選出（写真）。女性と青年の参加は大きな課題。交流会では戦略的な組織の展望も語られ、新年度の課題としたい。■



この時期は最低賃金が答申される大詰めの時、みんなで声を上げよう！、時給1500円は、全国どこでも必要だ！